

2025 ULTRA PROJECT

フクセイクラブ | 京都孔版 鳥居本顕史

■プロジェクト内容（予定）

フクセイクラブは、京都市伏見区にあるシルクスクリーン制作工房「京都孔版」による、複製技術に関する様々なトライアルを行うプロジェクトです。

本年度は大別して2つの活動を行います。A) 大学所蔵の、刷り師・谷中和生の資料をアーカイブ化し、それらを元に技法分析を試みます。同時に、写真家のサポートのもと700点にも及ぶ資料を撮影し、それらをまとめる梱包材を用途に合った素材と形状にリデザインする計画です。B) 映像・写真・テキスト・パフォーマンスなど複合的な領域を横断するインスタレーションを発表する、美術家・高橋耕平の「版画集」の制作（版元：京都孔版）に伴い、その事前トライアルとして、「複製」にまつわるWSや制作実験、フィールドワーク、レクチャーの中からいくつかのトピックを挙げて実施します。

実施期間 2025年5月～11月末

活動場所 ウルトラファクトリー プリントラボ、京都孔版

活動日 土曜日10:30-17:30の活動を予定しています。

場合により学外工房での活動を行うことがあります。

夏季休暇中に集中制作期間を設ける予定です。

（火～土 10:30～17:30）

■スケジュール

4月14日（月） エントリー〆切（10時まで）

4月17日（木） 17:30～ 面接（申込者全員）@ウルトラファクトリー

4月21日（月） 面接選考結果をメールにて連絡

5月8日（木） 18:00～ キックオフミーティング@ウルトラファクトリー

※上記は現時点での予定です。変更の可能性もありますが、各自スケジュールは空けておいてください。

■単位認定

あり

※通年の活動参加で、プロジェクト演習科目/ウルトラ・プロジェクト1（準正課）2単位を申請予定

※大学院生の単位認定は、スチューデント・オフィス（大学院担当）よりお知らせします。

■募集人数

6名程度

■応募方法

エントリーフォームより必要事項（志望動機/自己PR/シルクスクリーンや版画技法に触れたことがあるかどうか（選考基準には関係しません））を入力し、応募してください。ディレクターとの面接を経て、メンバーを決定します。

※エントリーフォームへは、特設サイトプロジェクト一覧の末尾にある【ウルトラプロジェクトのエントリーはこちら】から

■面接について

面接詳細はエントリー〆切後に、メールにて連絡します。

面接日までに自分が興味のある創作物やジャンルについてのプレゼン（3～5分程度の内容）を準備して、当日持参してください。

例：任天堂のマリオについて

■お問い合わせ

不明な点や質問は、ウルトラファクトリー オフィス（徳山・浦田）まで。

TEL 075-791-8482 Email ultrafactory@office.kyoto-art.ac.jp

ディレクター紹介

京都孔版

鳥居本 顕史



美術作家。シルクスクリーン制作工房「京都孔版」主宰。工房としての機能性を求める工房製作プロジェクトを進めながら、テクニカルディレクターとしても美術作家やデザイナーとの協働制作を行う。シルクスクリーンの設備や技法をベースとしつつも、作家それぞれが通常の使い方を脱臼させていながら作品を生み出していく試みを、刷り師としてサポートしている。企画した展覧会として、「半自動手職」展（2022）や「P.P. -コラボレーションの記録-」展(2024)など。



フクセイクラブ_昨年度の活動内容

本学の ULTRA FACTORY プリントラボには、シルクスクリーンの刷り師・谷中和生の制作資料「谷中コレクション」が保管されています。谷中は、1972年にタニナカシルクエディションを設立して以来、長年に渡り多くのアーティストと協働し、版画作品を制作してきました。

フクセイクラブでは、これらの700点にも及ぶ資料を整理・アーカイブ化しつつ、当時の資料を元にいくつかの実習を行ない、技術者の視点から技法の分析を試みています。

昨年10月には、学内にて資料の一部を公開し、実習の成果物を展示する展覧会「P.P. -コラボレーションの記録-」を企画・開催しました。

▼ 谷中コレクションの一例



▲ 「P.P. -コラボレーションの記録-」(2024)
展示風景



▲ 大向 務《グラフィック ワークス》のP.P.

▼ 実習風景



▼ リソグラフ技法を用いた「P.P. 展」フライヤー制作



フクセイクラブ_活動内容 - ①

本年度の活動の1つめは、昨年に引き続き、谷中コレクションのアーカイブ化作業です。

作品情報をしらべ、資料をカメラで撮影し、新しい梱包材に包み直し、アクセスしやすい状態に整理する作業です。

今年度は特に「撮影」と「梱包材のリデザイン」がメインとなります。

また、それらの資料をもとに技法分析も試みます。分析については、資料の中でも、特に作家と職人（刷り師）との協働性が強く感じられた、横尾忠則《龍の器》シリーズと、武田秀雄の《源平》シリーズに絞って行う予定です。

▼ 「谷中コレクション」全容の確認作業



▲ 武田秀雄 《大仏殿炎上》 部分

▼ 武田秀雄「源平」シリーズより、《平清盛病死》のP.P.



フクセイクラブ_活動内容 - ②

本年度の活動2つめは、美術家・高橋耕平と京都孔版が協働で取り組む「複製」にまつわるWSトライアルです。来年、京都孔版が版元となり、映像・写真・テキスト・パフォーマンスなど複合的な領域を横断するインスタレーションを発表する高橋耕平の「版画集」を制作する予定です。その事前トライアルとして、「複製」にまつわるWS、制作実験、フィールドワーク、レクチャーの中からいくつかのトピックを挙げて実施します。

▼ 高橋耕平《ことの集合、ことの飛散、私ごとがこだまする。》
パフォーマンス（ロームシアター京都 パークプラザ3階共通ロビー）

▼ 高橋耕平と福本双紅によるWSトライアル▶

